

# むつ市議会だよ!!

題字：宮川 凛桜さん(むつ☆かつ美術クラブ)



絵：イースター / 高田 莉羅さん(青森県立むつ工業高等学校 CG・イラスト愛好会) ※令和8年3月卒業

令和8年度予算審査

2ページへ

## 議会が注目する予算事業をピックアップ

一般質問

10ページへ

## 11の視点

議案審査

8ページへ

## 企業誘致で人口流出を抑制

# 予算審査

## 議会が注目 新年度予算事業

保育料無償化事業

9975万1000円



※イメージ

学びの多様化学校設置事業

976万3000円



伝統行事及び民俗芸能継承育成事業 150万円



物価高騰対策ごみ袋配布事業 2398万円



※イメージ

### 令和8年度予算 405億円

#### 守り、拓き、躍動する 強靱な礎の上に

#### 50年の想いを 解き放つ予算

予算審査特別委員会（議長除く全議員で構成）を3月5日、6日、9日の3日間で開催し、令和8年度予算を審査しました。今号では、予算審査内で出された質疑の一部を紹介します。

その他の審査で出された質疑は下の配信動画からご覧ください。

#### 予算審査の動画はこちらから

令和8年3月9日（月）午前10時から

主な日程

◎ 令和8年度  
各会計予算について

（審査3日目）

予算審査特別委員会

審査1日目



審査2日目



審査3日目



## 認知症早期発見へ セルフチェッカー導入



私は大丈夫！って思っていないですか？

### 一般介護予防事業

2219万1000円

#### 事業内容

介護予防の知識に関する普及啓発のほか、地域サロンや介護予防運動といった高齢者の通いの場の活動支援などを行う事業。

#### 質疑 Pick up

**問** 介護予防普及啓発事業の詳細は。

**答** 講演会等を通じて、介護予防に必要な知識や情報を普及啓発することを目的とした事業を実施しているが、新たな取り組みとして、認知機能セルフチェッカー2台を導入する。

**問** 認知機能セルフチェッカーで機能低下がみられた市民に対する支援体制は。

**答** セルフチェッカーの利用に際しては、地域包括支援センターの専門職がサポートを行い、機能低下の兆候が見られた方には、認知症予防の助言や市の介護予防事業の情報提供を行い、参加につなげていくことを想定している。

※ 認知機能セルフチェッカーは、昨年度、むつ市議会民生福祉常任委員会の行政視察を契機として、複数の議員から導入の提案があったものである。

## 補聴器購入助成で 安心の社会参加促進へ



※ イメージ

聞き返すストレスからの解放

### 高齢者補聴器購入費助成事業 90万円

#### 事業内容

市内に住所を有する、加齢により聴力が低下している65歳以上の軽度・中等度の難聴者に対し補聴器の使用により、閉じこもりを防ぎ積極的に社会参加を促すため補聴器購入費を助成するもの。

#### 質疑 Pick up

**問** 助成する人数の予定と1人あたりの助成額は。

**答** 今回、予算として90万円計上し、人数としては30人、1人あたりの助成額は3万円となる。

**問** 過去に購入した方々は助成対象になるのか、また集音器は助成対象になるのか。

**答** 過去に補聴器を購入された方でも適用するように調整し、また集音器についても対応する見込みである。

## 国スポをきっかけに ごみ問題を考えよう



ごみなしでキレイな街でお出迎え

### スポGOMI大会 in むつ市事業

**84万6000円**

#### 事業内容

あおり国スポ・障スポ開催に向けた機運醸成と、ごみ問題について意識を向上させるきっかけとするための事業を実施する。

#### 質疑 Pick up

**問** 事業の詳細は。

**答** 7月21日（祝日）にむつ運動公園での開催を予定しており、3名1組でチームを結成し、時間内に指定エリアの清掃活動を行い、そのポイントを競う事業を実施する。

※ このほか、国スポ・障スポ関連事業として、国スポ観光案内推進事業(52万8000円)、国スポ応援スタンプラリー事業(20万8000円)を実施する。

## 49年ぶりの青森県開催 記憶と記録に残る大会へ



トップレベルの試合を目の前で

### 国スポ・障スポ推進事業

**10億4878万3000円**

#### 事業内容

「青の煌めきあおり国スポ・障スポ」が本県で開催されることから、機運醸成のための広報・啓発や大会参加者への歓迎・おもてなしを行うほか、当市で開催される正式競技4競技等の開催経費として、むつ市実行委員会へ負担金を支出する。

#### 質疑 Pick up

**問** 正式競技の運営費の内訳は。

**答**

セーリング競技	3億7169万5000円
ローイング競技	3億973万円
フェンシング競技	2478万7000円
バスケットボール競技	3506万8000円

**問** 県補助額の内訳と、市がこれまでに支出している額を含めた市の負担総額は。

**答** ローイングとセーリングの経費として、市町村競技施設仮設等対応費補助金3億604万6000円、会場地市町村運営交付金3億9969万5000円、学校観戦支援事業補助金418万3000円が県から交付される見込み。市の負担総額は、5億2300万円程度を見込む。

## 地元企業と連携した おしごと体験で地元定着へ



※イメージ

むつ市版キッズニア初開催

地元のおしごと体験事業

1718万4000円

### 事業内容

11月下旬にむつマエダアリーナで2日間開催し、参加企業は25社程度を予定しており、1日あたり500名程度を想定。子どもたちが地域で学び、地域を知り、地域の未来を描くことができる、地元定着につなげる事業。

### 質疑 Pick up

**問** 現在、中学生が職場体験しているが、連携は考えているか。

**答** 学校行事も鑑み、おしごと体験事業と連携を図りながら改めて決定していく。

**問** 土日ではなく平日に開催し、学校単位で募集することにより、多数参加できるのでは。

**答** 個人で募集、参加していただき、お子さんに費用の負担をお願いしようと考えている。その中から働いた分をお給料という形で、子どもたちに還元していくという取り組みも想定している。そのため、休日開催を考えている。

※ キッズニアとは、1999年にメキシコで誕生した子ども向けの職業体験施設。子どもたちが自分の興味のある仕事を体験し、楽しみながら大人になりきって社会の仕組みを学ぶことが可能。

## 地域で考えた 高校通学支援が実現



県内初！公用車を使った高校通学の支援

脇野沢地区高校生通学支援事業

147万5000円

### 事業内容

脇野沢地区の高校生の通学に係る利便性の向上と負担軽減を目的に、地域振興を推進する地元団体が、脇野沢地区から川内蛸崎地区までを運行し、高校生を送迎する。

### 質疑 Pick up

**問** 事業開始に至る経緯は。

**答** 高校生の保護者を対象に、通学支援に関するアンケート調査を実施した際に、脇野沢地区において、スクールバス発着場所となる川内蛸崎地区までの、保護者による朝夕の送迎に関し、身体的負担が大きいとの声が寄せられたことから、地域課題に取り組む「わきのさわ夢プロジェクト推進協議会」において、保護者も含め協議を行い、本事業の実施に至った。

**問** 通学方法と支援内容は。

**答** 通学支援を行う団体に対し、脇野沢庁舎の公用車を無償貸与し、脇野沢地区からスクールバス乗降場所の川内蛸崎地区までの往復の燃料代や、自動車保険費用等の運行に係る経費を市が負担する。これにより、保護者の追加負担もなく、通学に係る利便性が向上する。

## 市公式アプリを より使いやすく



※ イメージ

指先ひとつで手軽につながる市の情報へ

### ポータルアプリ導入事業

## 1327万円

#### 事業内容

市の情報に誰でも簡単にアクセスできる環境を整備するため、新たなスマートフォン用のアプリを導入する。

#### 質疑 Pick up

**問** これまでのアプリと違う点は。

**答** これまでは行政からの情報が中心であり、関心が広がらなかった。新しいアプリでは、市からの行政情報だけでなく、街の最新の情報や、お店のクーポンの発信などを行う予定。日常的に使ってもらえる、市の情報の「玄関口(ポータル)」となるようなアプリを目指す。

**問** 利用者数の目標は。

**答** 3年後に「7500 ダウンロード」を目標としている。

**問** 財源は。

**答** 国の交付金を活用し、事業費の2分の1となる、約663万円の補助を見込んでいる。

## 公共交通を守る 自動運転バス



運転手不足解消の一手になるか

### むつ市自動運転実証運行事業

## 1億9772万8000円

#### 事業内容

運転手の担い手不足や高齢化により、公共交通を維持することが難しくなっている。この課題を解決するため、将来的な自動運転バスの導入を見すえ、令和7年度に引き続き、実証運行を行う。

#### 質疑 Pick up

**問** 令和7年度から事業費が倍増した理由は。

**答** 無人での自動運転を見すえ、さまざまな課題を検証するため、運行期間を令和7年度の30日間から、冬期間を含めた90日間としたことによるもの。なお、運行ルートは、基本的には令和7年度と同様と考えている。

**問** 財源は。

**答** 国土交通省の補助金を活用する。正式な補助の要件は今後示されることになるが、補助率は令和7年度と同じく、5分の4を見込んでいる。

# 海外との交流を加速



台湾との絆さらに深く

## 海外展開“Plus Ultra”事業

1413万5000円

### 事業内容

海外での事業展開により、市特産品の販路拡大や、外国人観光客の誘客による地域経済の活性化を図る。あわせて台湾高雄市政府への職員派遣や、海外の大学生との連携等を通して、文化的交流を促進する。

### 質疑 Pick up

**問** 海外事業の概要は。

**答** シンガポールとアメリカの大学との連携事業である「AGAP 2026」、台湾高雄市でのイベント開催、高雄市政府への職員派遣の3事業を計画。AGAPについては、アメリカからの参加校が1校増えて2校となる予定であるほか、台湾との交流の一環として、台湾からの訪問団が当市を訪れる予定である。

**問** 台湾高雄市政府への職員派遣にかかる経費は。

**答** 現地の家賃、生活費や交通費等の日額旅費、台湾からむつ市への渡航費等で、合計約477万円を見込んでいる。

# モンベルグループによる むつ市の魅力発信



早掛に全員集合！自然の中で広がる新たな魅力発信

## 観光施設管理費

(早掛レイクサイドヒルキャンプ場)

4183万9000円

### 事業内容

新たな観光コンテンツの創出に向け、アクティビティのイベント開催経費を含めた管理運営費。

※ モンベルグループが提案した事業を市および施設管理者が実施する予定

### 質疑 Pick up

**問** 管理費の増額理由は。

**答** キャンプ場だけの管理運営から、令和8年度からはイベントを含めた、早掛沼公園一帯の管理となるため増額となる。

**問** 開催イベントの内容は。

**答** キャンプ場内を活用しての、星空観察やバードウォッチング等、その他、下北周辺地域を活用したトレッキング等を検討している。

# 議案審査

## 4 市民生活に関わる議案を Pickup

### 企業誘致で人口流出を抑制

#### むつ市企業誘致促進条例の一部を改正する条例

##### 議案内容

市内企業及び市外企業が出資して市内に設立する法人により、市内に設置される事業所に適用対象事業所に加える。

**問** ビジョンとして何社を想定しているか。

**答** 1年間で3件の企業誘致を目標として取り組んでいきたい。

**問** 市内の高校、大学との連携は。

**答** 青森大学もメンバーとなっており、卒業生の就職先の受け皿となる可能性が期待されるため、学生向けのPRにも取り組む。

**問** 適用対象事業所に認定された場合の企業のメリットは。

**答** 事業所設置助成金、雇用助成金及び事業所賃借助成金の3つの助成措置を受けることができる。



地域と企業が結ぶ未来への確かな一歩

### 自然の家の今後は

#### むつ市下北自然の家条例を廃止する条例

##### 議案内容

施設の老朽化等により、令和8年3月31日をもってむつ市下北自然の家を廃止する。

**問** 宿泊体験学習の代替先の検討状況は。また、教育委員会の支援はあるのか。

**答** 各学校の判断となるが、多くの学校では県内施設の利用を検討している。また、バスでの移動経費を補助する。

**問** 建物以外のキャンプエリア等の維持管理は考えているのか。また、避難所として活用できるのか。

**答** 建物以外のキャンプエリア等の維持管理していくことは考えていない。屋外避難場所としての活用を市長部局で考えている。また、避難所として安全に使用できる状態と判断した場合に開設される。

# 子ども誰でも通園制度

むつ市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

**議案内容**  
子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、親の就労の有無を問わず、生後6カ月〜3歳未満の未就学児が保育所などを利用できる制度とするもの。

**問**  
市では、先行して開始しているが利用状況は。また、これまで利用者等からの要望はあったのか。

**答**  
令和7年10月から、延べ31人の利用があった。利用に関し、保護者及び施設からは、特に意見等は寄せられていない。

**問**  
本案は、国の基準と異なる部分はあるのか。

**答**  
基準については、合理的な理由がないため、国と同じ内容としている。

※ イメージ



親子を支える新たな取り組み



# 国保税の負担を軽減

むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例

**議案内容**  
令和8年度から創設される「子ども・子育て支援納付金」の課税に必要な事項を規定し、あわせて基礎課税額に係る税率の引き下げを行う。

**問**  
「子ども・子育て支援納付金」による市民への影響と、それに対する市の対策は。

**答**  
「子ども・子育て支援納付金」の追加により、被保険者（国保加入者）の税負担が増えることになる。そのため、その増額分と同程度を、基礎課税額から減額する税率改正を行うことで、税負担の軽減を図る。

※各議案の議決結果は14から15ページをご覧ください。

独自の考えで質問・提案する

YouTube で一般質問の動画をご覧ください →



# 一般質問



P.13 P.12 P.12 P.12 P.12 P.11 P.11 P.11 P.11 P.10 P.10

下北に空港実現か	ユネスコ世界ジオ	少子化対策急げ!	今後のむつ市は	家具固定で命守る	原則徒歩避難	事業者間連携	防災行政無線	会計年度任用職員	高水温ほたて被害	協定無視の原子力
----------	----------	----------	---------	----------	--------	--------	--------	----------	----------	----------

(自民クラブ) いだしげき 井田 茂樹 議員が問う

## 高水温ほたて被害

### 政策提案 市内3漁協漁業者の収入支援 検討や新たな取り組みをすべき

**Q** 使用済み核燃料の搬入量が減ること、市が見込んでいた収入が減る。しかし、貯蔵量を増やすためとして事業者から提案されたのは、立地協定を締結していない電力事業者からも搬入する「共用化」。これは協定違反。契約違反として、事業者に対し減収分の補償を求める考えは。

**A** 現在は、立地協定に違反している状況にないため、検討していない。

**Q** 市が以前挙げた、「立地協定の内容が守られない



貝の王様「陸奥湾ホタテ」

**Q** ほたて漁業者に、市民税の減免、免除を検討する考えはあるのか。

**A** むつ市条例に基づき、所得が皆無となり生活が困難となった方やこれに準ずると認められる方の市民税、国民健康保険税を減免する制度、減免が認められない場合でも、個別にご相談いただければ徴収猶予や分割納付等の柔軟な運用も可能となっている。

**Q** 海底清掃や海浜清掃等、漁業者の臨時収入となるような支援事業を市として検討・実施の考えがあるか。

**A** 国・県にも漁業者の漁家経営及び生活支援についての要望を行っており、その様な支援策が打ち出された際には、積極的に活用を検討し実施していきたい。

(無党派) たかはし まさし 高橋 征志 議員が問う

## 協定無視の原子力

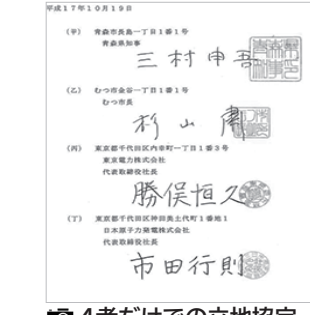
### 政策提案 市の減収の補填は「共用化」ではなく「協定違反の補償」で

**Q** ほたて漁業者に、市民税の減免、免除を検討する考えはあるのか。

**A** むつ市条例に基づき、所得が皆無となり生活が困難となった方やこれに準ずると認められる方の市民税、国民健康保険税を減免する制度、減免が認められない場合でも、個別にご相談いただければ徴収猶予や分割納付等の柔軟な運用も可能となっている。

**Q** 海底清掃や海浜清掃等、漁業者の臨時収入となるような支援事業を市として検討・実施の考えがあるか。

**A** 国・県にも漁業者の漁家経営及び生活支援についての要望を行っており、その様な支援策が打ち出された際には、積極的に活用を検討し実施していきたい。



4者だけの立地協定

**Q** ほたて漁業者に、市民税の減免、免除を検討する考えはあるのか。

**A** むつ市条例に基づき、所得が皆無となり生活が困難となった方やこれに準ずると認められる方の市民税、国民健康保険税を減免する制度、減免が認められない場合でも、個別にご相談いただければ徴収猶予や分割納付等の柔軟な運用も可能となっている。

**Q** 海底清掃や海浜清掃等、漁業者の臨時収入となるような支援事業を市として検討・実施の考えがあるか。

**A** 国・県にも漁業者の漁家経営及び生活支援についての要望を行っており、その様な支援策が打ち出された際には、積極的に活用を検討し実施していきたい。



(むつの風)

すぎうら ひろき

杉浦 弘樹 議員が問う

## 防災行政無線

### 各地区の地域事情に即した運用はできないか

政策提案

**Q** 火災発生時の消防団員を招集する連絡手段で、以前のように、防災行政無線の活用を可能にしてほしいと地域で要望がある。市内全域での統一的な運用ではなく、各地区で地域事情に即した運用はできないか。

**A** 防災行政無線の特性は、市民の皆様へ災害情報や緊急情報などを広く伝達するための手段であることから、現在の火災発生時における消防団員への連絡手段として、一斉連絡による電話や電子メールのほか、



地域事情に即した運用へ

コスモキャストを活用している。現状、消防団員の招集に使用することは物理的に可能だが、消防署等の人員配置により、運用が困難な場合も想定されるため、関係機関と協議を進めながら検討していきたい。



(無会派)

くどう しょうこ

工藤 祥子 議員が問う

## 会計年度任用職員

### むつ市として処遇改善の検討を

政策提案

**Q** 会計年度任用職員は有期雇用であり、全国では制度への不安の声もあるが、当市の雇用状況を伺う。

**A** 令和8年2月現在、正職員486名に対し、会計年度任用職員は376名。人数が最も多い職種は、事務補助員の123名であり、そのうち女性は82.1%の101名である。

**Q** 採用方法や待遇は。

**A** 履歴書の提出の他、作文と面接を行っている。継続希望者の場合は、履歴書の提出の他、職員評価を



会計年度任用職員は不可欠

行っている。待遇については、期末・勤労手当が支給される他、産前・産後休暇も取得できる。

**Q** 会計年度任用職員から正職員になった人数は。

**A** 令和5年度から令和7年度まで、毎年5名である。



(市誠クラブ)

のなか たかゆき

野中 貴健 議員が問う

## 原則徒歩避難

### 今こそ地区レベルでの大規模な津波避難訓練を

政策提案

**Q** 夜間に津波警報が出たにも関わらず、大畑地区では車避難での渋滞が発生したが、この現象を行政としてどう捉えているか。

**A** 過去の教訓からも渋滞は津波からの逃げ遅れや、死に直結する重大なリスクとなるため、「避難意識の高さ」を「適切な避難手段の選択」へと繋げていけるよう、命を守る手段・行動としての「原則、徒歩避難」の重要性について、周知啓発に努めていきたい。



渋滞に巻き込まれたぞー

**Q** 津波防犯まちあるきを行うべきでは。

**A** 「津波防犯まちあるき」など、自主防災組織や町内会等が主体となつて、継続的に実施できるよう積極的に支援し、「自らの命は自ら守る」という地域防災力の向上を図っていきたい。



(無会派)

さとう たけし

佐藤 武 議員が問う

## 事業者間連携

### 事業者間連携は立地協定に基づいて検討すべき

政策提案

**Q** 事業者間連携は立地協定当事者ではない他社からの受け入れなので、立地協定に反するのではないか。

**A** 今回の「事業者間連携の検討」に関する提案は、事業者からの打診の段階であり、現時点では直ちに立地協定に反するものではないと考える。

**Q** 使用済み核燃料の搬出元と搬入比率が明確でなければ、東京電力と日本原電からの4500トンと、他社から受け入れる500トンの比率も、曖昧になるの



使用済燃料中間貯蔵施設

ではないか。

**A** 現時点で事業者間連携の具体的説明は受けていない。そのことから、他社からの受け入れの比率が曖昧になるかどうか、答えられる状況にない。



(市誠クラブ)

さとう ひろまさ

佐藤 広政 議員が問う

## 今後のむつ市は

政策提案

### 市民の皆様の思いを込めて 次世代に繋げて

**Q** 現むつ市総合経営計画が残り約1年。全般的にどのように検証、評価しているか。

**A** 現行計画は残り1年となり、市は毎年PDCAに基づき内部・外部評価を実施し、施策の改善を進めてきました。令和6年度は56施策中52が順調と評価され、大学誘致やトマト工場誘致、子育て支援の無償化など新たな事業も実現。検証結果を踏まえ、市民が「住み続けたい」と思えるまちづくりを今後も進めていく



市民の声を聴く

**Q** 山本市長初の総合経営方針。

**A** 人口減少など厳しい現状を踏まえ、市民と共に未来を描き、EBPMで課題に挑み、共創でまちの変化を実現していきたい。



(陸奥未来)

むらなか ひろあき

村中 浩明 議員が問う

## ユネスコ世界ジオ

政策提案

### 生態学・考古学・民俗学・植物 をストーリーに取組むべき

**Q** ユネスコ世界ジオパーク認定を目指すにあたり、国内外からの来訪者への対応について伺う。

**A** 地質サイトまでの遊歩道の整備等を進めるとともに、ユネスコ世界ジオパーク基準に沿った見やすい看板の設置や視認性の向上を図っていく。来訪者に情報発信を強化する等、取り組んでいく。これらの課題解決に向け、市としても連携を密に支援していく。



中野沢海岸で清掃活動

**Q** ユネスコ世界ジオパークのストーリーにどう組み込むのか伺う。

**A** 地域の歴史や伝統芸能や植物等も重要な要素であるため、これらを大地と結びつけながら、地域を語るストーリーとして紡いでいく。



(公明・自由)

すみよし としひろ

住吉 年広 議員が問う

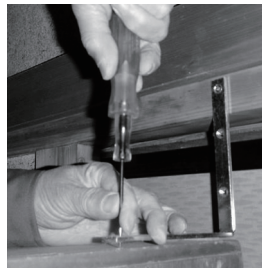
## 家具固定で命を守る

政策提案

### 設置困難な高齢者世帯等への 家具固定器具取付支援を

**Q** 令和6年6月議会において、高齢者や障がい者への対応について「調査・研究」の回答だったが、これまでの検討状況を伺う。

**A** 高齢者や障がい者など、ご自身で器具の購入や設置が困難な世帯への支援のありかたについて、複数の自治体における助成制度や無料取付事業の対象範囲、支援内容等を調査している。今後、これまでの調査結果を踏まえ、事業導入を検討していく。



自力での設置が難しい方へ

で、建築業界等の専門人材との連携について協議の場を設ける考えはないか。

**A** 今後、本事業の必要性や趣旨を説明する機会を設け、市の実情に即した最適な事業スキームを構築していく。



(市誠クラブ)

さが ひでお

佐賀 英生 議員が問う

## 少子化対策急げ！

政策提案

### Uターン政策を推進し、人口 減少に歯止めを掛けるべき

**Q** 人口減少及び少子化の本当の原因はどこにあると考えているか。

**A** 原因は複数あると考えられるが、大きな要因は未婚化や晩婚化の進行に伴う、出生数の低下にあると考えている。日本で子供一人を出産から成人まで育てるのに掛る費用は、平均で2000万円から2500万円程度と言われており、生活が苦しくなり結婚はしても出産を厳しく考えている人が増加している。



出生数、100人切る？

**Q** むつ市の婚姻数と、出生数は。

**A** 婚姻数は令和4年度は488件、5年度は476件、6年度は443件で、出生数は令和5年が222人、6年度が202人、7年が171人で23%減少している。

# 請願審査

## 原子力施設との 共創に向けた議論を

### 請願 第1号

リサイクル燃料備蓄センターに  
おける貯蔵量確保に関する請願

請願原文



事業者から貯蔵量確保に向け、事業者間連携を含め検討を進めたいと市議会が報告を受ける（令和8年1月9日）

### 請願内容

当初リサイクル燃料備蓄センターに搬入・搬出予定であった使用済燃料5000トン達成し、安定した税収を確保するための「事業者間連携」について、事業者から具体案を聴取した上で最終的な貯蔵量及び原子力施設との共創に向けた将来像について検討を行うこと。

**問** 今請願の目的は、共用化のための検討なのか、原子力施設との共存を模索してほしいということなのか。

**答** 共用化ありきの話ではなく、原子力施設との共創に向けて、議論が停滞することなく進めることにあると認識している。

**問** 事業者間連携について、具体的な説明を聞かなければ判断できないと考えるが、仮に請願が採択となった後、議会はどのような動きとなるか。

**答** 請願が採択となった場合、議会での判断や地域の声を踏まえて、市が最終的に判断することになると思う。議会では、特別委員会を開催するなどの対応が出てくるものと考えている。

(自民クラブ)  
あさり たけじろう  
浅利 竹二郎 議員が問う

## 下北に空港実現か

政策提案

## 経済の活性化・観光振興・ 防災機能強化を目指す空港へ

**Q** むつ市コミュニティ空港構想について、設置構想の趣旨は。  
**A** 下北半島は、半島という地形的特性から陸路が寸断された場合に孤立するリスクが高く、また、原子力関連施設が集積していることから、大規模災害など万一の事態に備える必要がある。  
**Q** 外国のフランクな男女関係と違って、日本では出産の認知は概ね結婚が前提である。成婚率が低下すれば、必然的に少子化が進む



函館・青森ひとつ飛び！

**Q** と考えるが、相関関係が認められるか。  
**A** わが国では出生の多くが婚姻関係の中で生じている社会的背景があることから、婚姻の減少や晩婚化が進むことは、出生数の減少に影響すると考える。

## 配信動画はこちらから

### ○事業者からの報告（1月9日）

令和8年1月9日（金）午後1時～  
主な日程  
参考人からの意見聴取  
リサイクル燃料貯蔵株式会社に関する中長期搬入・搬出計画について  
第7回審査  
使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会



### ○請願の審査（3月4日）

令和8年3月4日（水）  
主な日程  
◎ 請願の審査  
第8回審査  
使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会



# 議決結果

## ◎ 第170 回臨時会

議案番号	件名	審議結果
1	令和7年度むつ市一般会計補正予算 (むつ市プレミアム付飲食券事業費等)	◎

★ 議案の内容や過去の賛否一覽も議会ホームページから見るができます。



◎は全会一致、○は賛成多数、×は否決、-は採決なし

## ◎ 第267 回定例会 (全会一致となった議案)

議案番号	件名	審議結果
2	むつ市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	◎
3	むつ市部設置条例の一部を改正する条例	◎
4	むつ市行政手続条例の一部を改正する条例	◎
5	むつ市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	◎
6	むつ市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	◎
7	むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	◎
8	むつ市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	◎
9	むつ市営住宅条例の一部を改正する条例	◎
10	むつ市火入れに関する条例の一部を改正する条例	◎
11	むつ市地方卸売市場大畑町魚市場条例の一部を改正する条例	◎
13	むつ市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	◎
14	むつ市中小企業経営安定化資金利子補給基金条例を廃止する条例	◎
15	むつ市視聴覚ライブラリー設置条例を廃止する条例	◎
17	むつ市観光遊覧船条例を廃止する条例	◎
18	むつ市過疎地域持続的発展計画について	◎
19	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて	◎
20	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて	◎

議案番号	件名	審議結果
21	令和7年度むつ市一般会計補正予算 (仮称むつ市立学びの多様化学校整備事業費等)	◎
22	令和7年度むつ市後期高齢者医療特別会計補正予算	◎
23	令和7年度むつ市水道事業会計補正予算	◎
24	令和7年度むつ市下水道事業会計補正予算	◎
26	令和8年度むつ市国民健康保険特別会計予算	◎
28	令和8年度むつ市介護保険特別会計予算	◎
29	令和8年度むつ市公共用地取得事業特別会計予算	◎
30	令和8年度むつ市魚市場事業特別会計予算	◎
31	令和8年度むつ市水道事業会計予算	◎
32	令和8年度むつ市下水道事業会計予算	◎
33	むつ市介護保険条例の一部を改正する条例	◎
34	令和7年度むつ市一般会計補正予算 (除排雪委託料等)	◎
35	むつ市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	◎
報1	専決処分した事項の報告について (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
報2	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和7年度むつ市一般会計補正予算)	◎
報3	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和7年度むつ市一般会計補正予算)	◎
報4	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和7年度むつ市一般会計補正予算)	◎

# 賛否一覧

## ◎ 第267回定例会（賛否が分かれた議案）

議案番号	件名	審議結果
12	むつ市企業誘致促進条例の一部を改正する条例	○
16	むつ市下北自然の家条例を廃止する条例	○
25	令和8年度むつ市一般会計予算	○
27	令和8年度むつ市後期高齢者医療特別会計予算	○
請願1	リサイクル燃料備蓄センターにおける貯蔵量確保に関する請願	○

賛否が分かれた議案について、議員別に賛成・反対を公表します。

○は賛成、●は反対、「欠」は欠席または採決時に不在。議長(富岡幸夫)は採決に加わらない。

議案番号等	議決結果	合計			市誠クラブ			公明・自由			自民クラブ				陸奥未来			むつの風			会派に属しない議員									
		賛成	反対	欠席・不在	佐賀英生	野中貴健	佐藤広政	住吉年広	櫻田秀夫	白井二郎	中村正志	佐々木肇	浅利竹二郎	井田茂樹	富岡幸夫	佐々木隆徳	岡崎健吾	村中浩明	富岡直哉	杉浦弘樹	濱田栄子	東健而	大瀧次男	佐藤武	工藤祥子	高橋征志				
議 12	可決	20	1	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	討論		
議 16	可決	19	1	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠		
議 25	可決	19	2	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	討論	
議 27	可決	19	2	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	討論
請 1	採択	18	3	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	討論

# 要望活動

3月11日に国土交通省および防衛省  
に対して要望活動を行いました。

○国土交通省  
(要望内容)

「豪雪地帯及び半島地域におけるレベル4自動運転移動サービスの社会実装推進に向けた継続的な支援について」

○防衛省  
(要望内容)

「国有提供施設等所在市町村助成交付金の増額について」

「海上自衛隊教育隊の誘致について」

「防衛関連事業の地元発注等への更なる配慮について」

「大湊基地1万トンドックへの常設型クレーンの設置について」

「海上自衛隊第25航空隊の滑走路の延伸及び共用化に係る調査・研究への協力について」



国土交通大臣政務官に要望事項を説明



なかがわ たかひろ  
会長 中川 隆浩 さん

# 自分の知識を下北のために

Q. どんな活動をしているのですか？

A. 下北を知るきっかけづくりの「下北検定」が中心です。その他、まち歩きガイドや小学校の出前講座での講演、会員の見識を深めるための勉強会などを行っています。記憶は風化してしまいます。いろいろな人の話を聞き、記録に残すことも大切だと思っています。

Q. 今後の展望は？

A. 「知るは楽しみなりと申しまして、知識をたくさん持つことは人生を楽しくしてくれるものがございます」。「クイズ面白ゼミナール」という番組のフレーズですが、いい言葉なので「知るは楽しみなり」を座右の銘にしています。下北を「知る」ことで、下北での人生が「楽しく」なる。そのことを伝えていければと思っています。



## ～下北を知る会～

## 市民の声

### 「当たり前」の中にあるすばらしさ

Q. 下北のおススメは？

A. 「アゲハ蝶の夜景」です。函館の夜景を見た後の、当時、小学生だった息子の感想を、今でも覚えています。「むつの方がずっと良い。だって形が蝶々だから」。その夜景が今、世界夜景遺産として認められたことが、とてもうれしいです。

Q. 「下北を知る」ことの難しさは？

A. よそのことを知って、初めて、下北の良さを知ることだと思います。気づけないことが多いんです。住んでいると、それが当たり前すぎて。

Q. 今後の目標は？

A. 「むつには何も無い」と言うけれど、本当は良いところがいっぱいある。そのことに気づいてもらえるよう、むつ市と下北の良さを発信していきたいです。



すげかわ しずえ  
事務局 祐川 静枝 さん

取材者：杉浦弘樹 副委員長、高橋征志委員

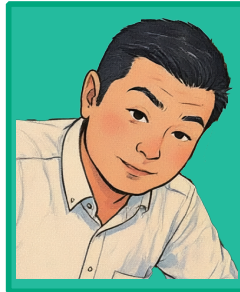
### 1月14日 議会だよりアップデート中



#### 広報広聴委員会視察研修を実施

令和8年1月14日、(株)会議録センター(埼玉県)へ「議会広報紙」に関する研修を受講してきました。研修では、現状の議会だよりがどのようにすれば「より読みやすい」ものとなるのかをご指導いただき、研修で学んだ内容は今議会だよりから反映しています。  
今後も市民の皆さまにより読んでいただける議会だよりを作成できるように努めていきます。

#### 編集後記



新年度の予算が決まりました。皆さんの税金が、「何に」「どう」使われるのか、大切なポイントを絞ってまとめています。自分たちの生活シーンと重ね合わせて、読んでいただけると嬉しいです。(櫻田 秀夫)

↓むつ市議会の情報はこちらから↓

